

丛书主编/吴小瑾
本书主编/高玉军

全国日语翻译专业资格(水平)考试

日语笔译综合能力

三级·二级



大连理工大学出版社

全国日语翻译专业资格(水平)考试

日语笔译综合能力

(三级·二级)

丛书主编	吴小瑾		
本书主编	高玉军		
编委	高玉军	张强	
	吴小瑾	魏铀原	

大连理工大学出版社

© 吴小瑾 2005

图书在版编目(CIP)数据

日语笔译综合能力(三级·二级)/高玉军主编. — 大连:大连理工大学出版社,
2005.7

全国日语翻译专业资格(水平)考试

ISBN 7-5611-2923-8

I. 日… II. 高… III. 日语—翻译—资格考核—自学参考资料 IV. H365.9

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2005)第 031431 号

大连理工大学出版社出版

地址:大连市凌水河 邮政编码:116024

电话:0411-84708842 传真:0411-84701466 邮购:0411-84707961

E-mail: dulp@ dulp. cn URL: http://www. dulp. cn

大连业发印刷有限公司印刷 大连理工大学出版社发行

幅面尺寸:185mm×260mm 印张:13.25 字数:284千字

印数:1~3000

2005年7月第1版

2005年7月第1次印刷

责任编辑:宋锦绣 高颖

责任校对:李丽

封面设计:孙宝福

定 价:25.00元

丛书前言

由国家人事部推出的全国日语翻译专业资格(水平)考试,经过2004年11月在北京、上海、大连三个城市进行试点考试,将于2005年5月开始逐步向全国推行。

这一考试一旦全国推行,它将取代以往的翻译职称评定。因此,对于有志于从事翻译工作和正在从事翻译工作的人来说,这一考试将是非常重要的。因为它可以很权威地证实你的能力和水平,所以也将为你从事翻译职业打开更广的路子。

同时,准备迎接考试的阶段本身就将是—个很好的学习阶段,有了明确的目标,相信你学习起来将更有动力,水平的提高将更快。

由于目前人事部还只推出了二三级的考试,所以这套丛书暂时也只包括二三级的口笔译实务和口笔译综合能力。编写目的就是为了帮助大家提高语言综合能力和翻译能力,以便积极应考。

当然,这套丛书也适合于那些不参加该项考试而只是想提高语言综合能力和翻译水平的读者。相信大家通过对这套丛书的学习和消化,在能力和水平上一定会有非常显著的进步。

本套丛书的编写者都是语言教学经验和翻译实践经验非常丰富的大学教师,对人事部翻译资格考试也进行了深入的研究和探讨。有的老师甚至还在一定程度上参与了资格考试,并且对考试提出过诸多建议,并得以采纳。

因此,希望学员们能够按照各本书的建议踏踏实实地学习下去,最终达到切实提高翻译水平的目的。也祝大家在考试中取得好的成绩!

最后,衷心感谢大连理工大学出版社宋锦绣女士的大力支持和对我们的无比信赖。

吴小瑾

2005年3月于北京

前 言

本书是为了配合国家人事部全国日语翻译资格(水平)考试而编写的笔译综合能力辅导教材,该教材完全采取模拟题的形式,二级编写了4套,三级编写了5套。因为目前还没有举办一级以上的考试,而且一级以上的大纲也还没有出来,因此没有编写一级以上的模拟题。

编写这本书的主要目的实际上是让大家熟悉考试题型,并且在做模拟题的同时,加强语法词汇概念。

在使用这本书时,我们建议大家不要一次就将所有的题做完,可以分几个阶段来做。做完一套总结一下,然后根据自己的弱点再加强学习,到了一定程度再做另一套。如此反复,既可以看出自己的进步,又能有效地利用本书来测试自己的水平。

所谓正常的学习,对于笔译综合能力来说,无非就是要大量地阅读。读得越多,词汇量就会越大,对各种表达方式和驾驭能力也就会越强。那么,做起选择题来,也就会感到越轻松。

反之,如果把时间全部用在反复做题上面,而不去增加阅读量,那很可能越做越糊涂。因此,我们希望大家把这本书当做一个衡量自己水平的标尺和指路针,但不要让其作为你惟一的学习手段和目的。

最后,本书的读解部分,我们从日本国语教科书上的课文中选取了一些段落,由于时间仓促,来不及和原作者取得联系,我们只好在此表示深深的感谢。

高玉军

2005年3月于济南

如何应对笔译综合能力考试

目前的翻译资格笔译综合能力考试和日语能力测试相比,其实也就是没有了听力而已。语法、词汇、句型和读解等,都和能力测试大同小异。

现在,很多人都喜欢拿做模拟试题集来当学习,认为做试题是最有效的应试方法,因此而把大量时间都用在了做题上面。其实这种学习方法很不科学,既浪费了时间精力,又不会有很大的进步。

那么,正确的学习方法是什么呢?一是应该把做模拟题当做熟悉考试题型的过程;二是把做模拟题当做测试,通过做模拟题找出自己的不足,然后就要加强基本功的训练。

做模拟题其实就像一个运动员打热身赛,试想如果一个运动员每天就是比赛,而不进行基本训练,他的水平能提高得了吗?

因此,学外语也一样,一定要重视基本的学习。否则,你不可能从根本上提高自己的能力。

何况翻译又是个硬拼硬的工作,没有扎实的语言基础,那是很难胜任的。译不好不但别人难受,你自己也会感觉到非常别扭。

所谓基本的学习,对于提高笔译综合能力来说,就是要多读多写。尤其是要多读,适当地配合写,以巩固所学。

读什么为好呢?其实无论什么都可以,你喜欢文学作品,那就大量读文学作品,小说、随笔、甚至诗歌,都应该读。你关心时事,那就一定要坚持每天读日本各大报纸的“社说”,我尤其推荐大家读《朝日新闻》的“社说”。读社论既能学到语言,又能帮助你了解社会热门话题。所有报纸现在都能在网上读到,无需另花钱订购,非常方便。所以希望大家充分利用这些资源。

假如你能够把花在做模拟题上的时间的百分之九十用在阅读上,那么我相信,你一定能收到事半功倍的效果。

另外,如果能拿出一些时间就自己读过的东西来写一些感想,那就更加能促使你仔细去读,因而也就能进一步加深对所读文章的理解和记忆。

国家翻译资格考试还刚刚起步,题型随时还有可能发生变化。为了以不变应万变,除了从根本上提高自己的能力和水平以外,其实也别无他法。

因此,我们希望这本书中的模拟题能够为你自己的水平起到一个定位作用,每隔一个

阶段做一套,自我测试一下,其余时间我们还是建议大家广泛阅读。

我们在长期的教学经验中得出这样一个结论:班上那个能力考试成绩最高的一定是那种把最多的时间花在阅读上,而把最少的时间花在做模拟题上的学生。而那种成天抱着模拟题,做完一本又一本的学生,往往总是考得很不理想。

所以,我们衷心希望大家能够让自己始终保持平常心,不受浮躁风气所影响,科学地真正高效率地去提高自己的综合能力。(吴小瑾)

目 录

日语笔译综合能力(三级)模拟试题一	1
日语笔译综合能力(三级)模拟试题二	17
日语笔译综合能力(三级)模拟试题三	37
日语笔译综合能力(三级)模拟试题四	56
日语笔译综合能力(三级)模拟试题五	75
日语笔译综合能力(二级)模拟试题一	91
日语笔译综合能力(二级)模拟试题二	113
日语笔译综合能力(二级)模拟试题三	138
日语笔译综合能力(二级)模拟试题四	163
参考答案	186

日语笔译综合能力(三级)

模 拟 试 题 一

I. 語彙(20 点)

1. A～Dの選択肢から下線の引いてある漢字の正しい読み方を一つ選びなさい(各 0.5 点)。

(1) 年をとってすっかり白髪になった母は最近食欲もなくなって外に出たがらなくなり、留守番をすることが多くなった。

- A. しろげ B. はくげ C. しらが D. しろが

(2) 彼は18世紀に書かれた戯曲をもとに、新しい芝居の脚本を執筆している。

- A. しつひつ B. しっぴつ C. しゅうひつ D. しゅっぴつ

(3) 画期的なシステムを搭載したカメラならどんな瞬間も確実に捉えられる。

- A. かっきてき B. かくごてき C. がきてき D. がっきてき

(4) 鯉幟は、子供が勇ましく育つようにという願いから生まれたものである。

- A. ゆましく B. たくましく C. ゆうましく D. いさましく

2. A～Dの選択肢から正しい答えを一つ選びなさい(各 0.5 点)。

(5) こちらは買う気があったのに、店員が_____態度だったのでやめてしまった。

- A. 情け深い B. すばやい C. そっけない D. 生真面目な

(6) 毎日毎日_____量のゴミが出て、もう捨て場所がない。

- A. あわただしい B. おびただしい C. みすばらしい D. めざましい

(7) _____話し方で声をかけられて、知っている人かと思ったら人違いだった。

- A. なれなれしい B. 汚らわしい C. うっとうしい D. みっともない

(8) 歩いていて女の人と_____瞬間に、香水のいい香りがすることがある。

- A. さしかかった B. すれちがった C. 通りかかった D. たどりついた

(9) 理想論や一般論ではなく、もっと現状を_____具体案が求められている。

- A. ふざけた B. 押し切った C. ごまかした D. ふまえた

(10) 一ヶ月も_____かいがあって、ようやく交渉は成立した。

- A. ねたんだ B. ねだった C. ねばった D. ねじった

(11) 生徒に気をとられすぎて自分の子供の教育を_____にしている教師がいる。

- A. はるか B. おろか C. のどか D. おろそか

- (12) その人は上から責任を押しつけられ、窮地に_____自殺した。
 A. 追い込まれて B. 追いつかれて C. 追い越されて D. 追い掛けられて
- (13) その人の素晴らしい演奏が終わると、観客は_____立ち上がって拍手した。
 A. 一挙に B. 一心に C. 一斉に D. 一気に
- (14) 今日は晴れると言っているが、天気予報は_____から、傘をもって行った。
 A. 当たりがいい B. 当てになる C. 当てにならない D. あってない
- (15) ここから駅までは、目と鼻の_____です。
 A. 先 B. 前 C. 後 D. 中
- (16) この商品はすぐ壊れるので、_____がたくさん出ている。
 A. 苦情 B. 苦言 C. 苦心 D. 批判
- (17) 電車に乗るため列に並んでいたら、若い男が_____きた。
 A. まぎれこんで B. わりこんで C. のりこんで D. はいりこんで
- (18) _____ない噂に泣く人もいる。
 A. 土も根も B. 根も幹も C. 枝も葉も D. 根も葉も
- (19) 本当に疲れました。頂上はまだまだ、ちょっと_____しましょうか。
 A. 一本 B. 一杯 C. 一服 D. 一息
- (20) お伺いするときは_____お電話致します。
 A. かねて B. じきに C. あらかじめ D. かねがね
- (21) この案は一時_____にされた。
 A. 持ち上げ B. 切り上げ C. 荷揚げ D. 棚上げ
- (22) _____をつくしましたが、だめでした。
 A. 最上 B. 最高 C. 最善 D. 最良
- (23) 彼の話は焦点が_____いて、理解しにくい。
 A. ほどけて B. ぼやけて C. とぼけて D. ぼやいて
- (24) 彼女は15年の_____を持つテニスの選手である。
 A. ベテラン B. ポジション C. キャリア D. トレーニング
- (25) 疲れていたせいか、ゆうべは_____眠れました。
 A. ぐったり B. こっそり C. げっそり D. ぐっすり
- (26) 私の英語力では検定試験を受けても3級合格が_____だろう。
 A. 高い山 B. 関の山 C. 枯れ木の山 D. ちりのやま
- (27) 戦争は終わったが、_____人の命が失われ、悲惨な結果となった。
 A. おびたしい B. あつかましい C. とげとげしい D. けばけばしい
- (28) いつも、駅前の_____で朝ごはんを買って、学校へ来る。
 A. アパート B. マンション C. コンビニ D. スナック
- (29) 語学力では彼が社内でナンバーワンという_____をつけられている。
 A. 折り目 B. 折り紙 C. 白紙 D. 白い紙
- (30) 料理は食べ_____で3000円。いくら食べても3000円なのだから安い。
 A. 放談 B. 放題 C. 放漫 D. 放任

- (31) ダイエットの結果、ホルモンの_____が崩れてしまった。
A. トラブル B. コントロール C. バランス D. イメージ
- (32) となりの夫婦は朝から晩までけんかばかりしていて_____。
A. やかましい B. そそっかしい C. わかわかしい D. はなはだしい
- (33) もうすぐ試験なのだから遊んでいてはいけないよと、クギを_____おいた。
A. めいて B. うって C. さして D. おって
- (34) この子は小学生になっても赤ちゃんのように母親に_____くっついて、甘えたがる。
A. べったり B. さっぱり C. うっかり D. ぐっすり
- (35) あの二人は_____が合っていて、まるで夫婦のようだ。
A. かけ B. あいだ C. め D. いき
- (36) 仕事や人間関係が大変で、_____することが多い。
A. にこにこ B. いらいら C. ふわふわ D. しみじみ
- (37) この上着はわたしには大きすぎて_____だ。
A. ぺこぺこ B. どんどん C. ふらふら D. ぶかぶか
- (38) 来週、母の弟の子供、_____いところが遊びに来るんです。
A. じゃあ B. だから C. つまり D. というのは
- (39) 必要な書類はそろえました。_____証明書用の写真だけは明日になります。
A. そこで B. ただし C. そのうえに D. それなのに
- (40) 肌が_____で、すぐに赤くなる人は日焼けには十分気をつけたほうがいい。
A. スマート B. デリケート C. オーバー D. チャーミング

II. 文法(30 点)

1. A～Dの選択肢から正しい答えを一つ選びなさい(各0.5点)。

- (41) となりのうちの犬は、私の顔をみた_____ワンワンほえだした。
A. ところ B. とたん C. ときには D. とともに
- (42) 彼はいつもお金持ちになって世界旅行がしたいとか、夢のようなことばかり言っている。しかし、夢が実現できるかどうかは本人の努力_____である。
A. しい B. きり C. だらけ D. ながら
- (43) 日本で暮らして行く_____大事なことは、他人とあまり違うことをしないことです。
A. 上で B. 以来 C. 最中で D. ところで
- (44) アパートを借りる時、入居_____、まず賃貸契約が結ばれる。
A. に際して B. に先立って C. に沿って D. につれて
- (45) 無理な追い越しをした_____、彼の車は向こうから来た車と正面からぶつかってしまった。
A. おかげで B. ことだから C. せいで D. からには

- (46) 家へ帰ってさっそく箱を開けてみた____、皿が一枚割れていた。
 A. ところ B. ついでに C. おかげで D. すえに
- (47) あの客は店の品物にいろいろケチをつけて、その____何も買わずに行ってしまった。
 A. ため B. あげく C. はず D. とおり
- (48) 経験の浅い新人の____、不手際も多いかと思いますが、よろしくお願いいたします。
 A. ものを B. だけに C. ことゆえ D. ことから
- (49) この先、道路の補修工事____、片側通行となりますので、ご注意ください。
 A. につき B. にしろ C. として D. というもので
- (50) 映画が終わった____、観客がいつせいに席を立ち、出口に向かった。
 A. かと思うと B. かのうちに C. から見ると D. からいうと
- (51) 実力がありながら、上司の評価が低い____出世できない社員もいないわけではない。
 A. ものの B. ばかりに C. ところで D. ように
- (52) もう3回も行った____、今日は行かなくても大丈夫だろう。
 A. こととは B. ことから C. ことには D. ことだし
- (53) お世話になった先生に頼まれた____、ことわるわけにはいかない。
 A. からには B. からでは C. までには D. まででは
- (54) 息子は大学に入るため、上京して____、手紙一つよこさない。
 A. きり B. 後で C. ものの D. 以来
- (55) 郵便局へ荷物を送りに行った____、切手を買ってきた。
 A. あげくに B. ついでに C. かわりに D. あまりに
- (56) 彼は苦しさの____、自殺すら考えた。
 A. くせで B. おかげで C. あまり D. そばから
- (57) 彼女は、厳しい練習を重ねた____、やっと大会で優勝をつかんだ。
 A. ばかりに B. すえに C. あげくに D. もので
- (58) 夫婦が別々に暮らすようになった____、もう離婚するほかありません。
 A. うちに B. あいだに C. よりは D. うえは
- (59) 試験の前____、風邪を引かないように気をつけなければならない。
 A. だけに B. ばかりに C. ために D. ものの
- (60) たとえ学歴が低くても、努力____出世することもできる。
 A. において B. ながら C. しだいで D. にあって
- (61) この仕事は技術もいるし、責任も重い。その____報酬が少ない。
 A. せいで B. ために C. わりに D. おかげで
- (62) あの子はあまり食べられない____、ごちそうをたくさん皿にとりたがる。
 A. くせに B. せいに C. うえに D. ものに

- (63) 近い _____、みんなでお酒でも飲みませんか。
 A. うちに B. ほどに C. ときに D. あいだに
- (64) ちょうど夕食ができた _____、おなかをすかせた息子が帰ってきた。
 A. ばかりに B. ことに C. ものに D. ところに
- (65) こんないなかにあるに _____、あのレストランは雰囲気がいい。
 A. とっては B. しては C. よっては D. わりに
- (66) 新年度の初日に _____、社長から一言ごあいさつをいただきます。
 A. あって B. あたって C. よって D. なって
- (67) あの名人も初めからこんなに仕事ができたわけではない。若いころは、先輩のやることを見て、できない _____ その真似をしていたのだった。
 A. ながらも B. つつも C. たりとも D. からでも
- (68) いくらお金が欲しい _____、そんなに無理して働いたら病気になるてしまいますよ。
 A. からといって B. からこそ C. というから D. のだから
- (69) 携帯電話は便利な _____ プライベートな時間がもてなくなる場合もある。
 A. 契機 B. 以来 C. 反面 D. 相違
- (70) チャイムが鳴ったか _____ かのうちに、学生たちが机の上をかたづけはじめた。
 A. 鳴る B. 鳴らない C. 鳴った D. 鳴らなかった
- (71) 社長の命令 _____、長期の出張も引き受けざるをえない。
 A. としても B. にせよ C. にしては D. とあれば
- (72) 子どものけんかに親がわざわざ口出しをする _____。それぐらいのことは子ども同士で解決させろ。
 A. まだ B. までもない C. ものだ D. のもでもない
- (73) この国の人口は、昨年1月 _____ で、約8530万人です。
 A. 今 B. 現在 C. 時間 D. 時期
- (74) 過去の失敗は過ぎた _____、忘れてしまう方がいいでしょう。
 A. として B. としたら C. からでないと D. ものとして
- (75) あの人は本当に変わっている。だいたい着ている服 _____ 普通じゃない。
 A. からして B. からみて C. からあって D. からきて
- (76) 出土した黄金の装飾品は、贅沢の _____ を尽くした当時の王族の生活を想像させる。
 A. 至り B. 極み C. 至る D. 極まる
- (77) 生徒たちはよほど疲れているのか、授業の _____ 居眠りしはじめた。
 A. とたんに B. 中に C. うちに D. 最中に
- (78) アルバイト先の店長は何か _____ 私に文句を言う。
 A. にしろ B. にかけて C. におき D. につけ
- (79) 彼らがあの時代に豊かな生活を送っていた _____、すぐれた農耕技術を身につけていたはずだ。
 A. とすれば B. ともなると C. としては D. とにかく

(80)こんなことを言えば、彼女を傷つけることになると思い、言わざるをえなかった。

- A. かねて B. つつも C. かけて D. すぎて

2. A～Dの選択肢から正しい答えを一つ選びなさい(各1点)。

(81)それほど大きい音で音楽を聴いているわけでもないのに、毎日隣のおばさんに文句を_____。

- A. 言われてはたまらない B. 言われるに過ぎない
C. 言われてしょうがない D. 言われずにはすまない

(82)彼は裁判で無罪を主張しているが、彼のやったことが、殺人_____。

- A. でなくてなんだろう B. のおそれがある
C. するまでもない D. ところではない

(83)お金をたくさんくれるなら、_____。

- A. 引き受けることはない B. 引き受けないということだ
C. 引き受けるというものではない D. 引き受けないものでもない

(84)彼が、きのう病気で休んだというのは、うそ_____。

- A. に決まっていない B. に決まっている
C. にほかない D. じゃないと限る

(85)すぐ治るけがだと言われたのに、無理したため、手術_____。

- A. するにとどまった B. するにほかならなかった
C. を余儀なくされた D. のしよがなかった

(86)会社が総力をあげて取り組むことなしに、この難問を_____。

- A. 解決できないはずがない B. 解決してほしい
C. 解決することは不可能だ D. 解決せざるを得ない

(87)みんなから常識がないといわれている彼でも、子供じゃあるまいし_____。

- A. 失敗するのは目に見えている
B. まだ若いから仕方がない
C. 結婚しているかもしれない
D. そんなばかなことをするはずがない

(88)現在、この病気が治せるのはあの医者をおいて_____。

- A. ほかにはいない B. ほかにもいる
C. ほかにいるかもしれない D. ほかにいなくもない

(89)あの女優は、顔はたしかにきれいだけど、演技はまったく_____。

- A. 見るができない B. 見てはいけない
C. 見るにたえない D. 見ないものでもない

(90)「あれほど優秀だった彼のことで、きっと偉くなったにちがいない」と思いきや、_____。

- A. はたして社長になっていた

- B. 本當に優秀だった
- C. 食うや食わずの生活をしていた
- D. やはり幸せに暮らしていた

Ⅲ. 読解(50点、各問1点)

問題一、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えはA. B. C. Dの中から最も適当なものを一つ選びなさい。

下町情緒を味わうならば浅草である。仲見世にはさまざまな店が軒をつらねている。参拝者や観光客たちへのみやげものを売る店で、どちらかといえば和装小物が多い。このあたりにはまだ、江戸時代の古い伝統を伝えている職人たちが残っており、彼らの①日本情緒豊かな小物たちが、②「まだ、ここに江戸は息づいていますよ」と訴えかけるように並んでいる。小さな財布、櫛、かんざしなどの赤や緑の華やかな色づかいが美しい。

金龍山浅草寺、観音さまの門に立つ。赤くて大きい提灯がまず目を引く。この提灯は飾りもので実用ではないが、元来、提灯は竹の枠組に紙を張り、そのなかに灯芯を立てて夜道を歩くとき足もとを照らすために用いられた照明器具であった。提灯には雷門と書かれている。雷門は雷神の門ということで、門の左手にある立像が雷神の像である。小さい太鼓をたくさんかけているが、あれで③雷を鳴らす。右手に見える像は風神で、手にもつ袋には風が詰まっており、いったんことあれば風を吹き送る構えを見せる。

寺の境内には見世物小屋や物売りが集まっているが、これは昔からの伝統的光景だ。仲見世も寺の本堂へとつづく参道であった。全国からご利益を求めて集まる善男善女が、見世物小屋や出店でひとときの旅の疲れをいやしたのだろう。

浅草寺のはじまりは六二八年である。隅田川で魚をとっていた漁師の網に観音像がかかり、その漁師がすぐに村の庄屋に見せた④、「願えばかならず功德を授けてくれる尊像だ」ということで、まつることになったという。寺はたびたびの火災に遭った。火事とけんかは江戸の華といわれたほど、江戸は火事の多いところであった。⑤、火災のたびに寺は再建された。第二次大戦の東京大空襲ではほとんどが消失し、本堂が再建されたのは昭和三十三年。雷門、五重塔などが次々に建てられ、現在の姿はほぼ江戸時代のものに近いとされる。

何かが燃えて煙を出している。大きな香炉で線香を燃やしているのだ。その煙を頭にすり込むと頭がよくなり、ふところにすり込むとお金が入るという。身体全体にすり込むとけがをしなくなるという。⑥それが済むといよいよ御手洗で手を清めて本堂へのお参りという段取りになる。

参拝をすませたあとは、五重塔を仰ぎ見ながら花屋敷へと散歩の足を進める。昔ながらの蚤の市風の靴屋、洋服屋、駄菓子屋が⑦と並んでいる。裏通りの大衆酒場や一杯飲み屋などは庶民のいこいの場所だ。モツ焼き、おでんの煮込み、湯豆腐、枝豆などをさかかなに一日の疲れをいやす人たち。くったくのない笑顔がある。裏通りにとりすま

した顔がない。ほんとうの庶民の姿を観察するには、下町の路地裏を歩くに限る。

近代化から取り残されたような木造の家々の前には小さな植木鉢が並べられ、色とりどりの花を咲かせている。戦争の名残りの防火用水、発泡スチロールの箱、石油缶などが⑧な植木鉢に変身している。三輪車やぼろ自転車が乗り捨てられている。バケツで水をまくおじさん。そんな裏道には日本独特の情緒があふれている。⑨道に迷ってもかまわない。

お天気のよい日の午後、ふらりと下町散歩に出かけてみるのもいいものだ。忘れられていた江戸情緒を満喫すると、ほんとうの日本人の心が見えてくる。

(永嶋恵子 「下町情緒を浅草散歩で」による)

問 91. 下線部①に入れるのに最も適当なものを次の中から一つ選びなさい。

- A. 手にかかる B. 手になる C. 手にはいる D. 手にのる

問 92. 下線部②の「まだ、ここに江戸は息づいていますよ」はなぜか、最も適当なものを次の中から一つ選び、記号にQをつけなさい。

- A. 小さな財布、櫛、かんざしなどの色づかいが美しいから
B. 浅草には、江戸時代からの店が軒をつらねているから
C. 浅草には、観光客のための小物が売られているから
D. 浅草には、江戸の伝統を伝える職人達がいるから

問 93. 下線部③に入れるのに最も適当なものを次の中から一つ選びなさい。

- A. どんどん B. ばんばん C. ごろごろ D. がたがた

問 94. 下線部④に入れるのに最も適当なものを次の中から一つ選びなさい。

- A. ばかりに B. つもり C. あげく D. ところ

問 95. 下線部⑤に入れるのに最も適当なものを次の中から一つ選びなさい。

- A. すると B. それから C. しかし D. やがて

問 96. 下線部⑥の「それ」は具体的に何を指しているか。

- A. 大きな香炉で線香を燃やすこと B. 煙を頭にすり込むと頭がよくなること
C. 煙を身体にすり込むこと D. 香炉にお金をなげこむこと

問 97. 下線部⑦に入れるのに最も適当なものを次の中から一つ選びなさい。

- A. ゆったりと B. ゆっくりと C. のんびりと D. のんきに

問 98. 下線部⑧に入れるのに最も適当なものを次の中から一つ選びなさい。

- A. すてき B. りっぱ C. そぼく D. へん

問 99. ⑨の「道に迷ってもかまわない」とあるが、その理由として最も適当なものを次の中から一つ選びなさい。

- A. 道に迷っても、裏通りは、庶民のいこいの場所だから気にしない
B. 道に迷っても、下町の雰囲気を感じながら歩くだけで楽しいから気にしない
C. 道に迷っても、水をまくおじさんなどにすぐ道を聞けるから気にしない

D. 道に迷っても、お天気はよく、日本人の心が見えてくるから気にしない

問 100. 当時の「江戸」はどんな様子だったのか、最も適当なものを次の中から一つ選びなさい。

- A. 古い伝統を伝えている職人たちが多かった
- B. 寺の境内には見世物小屋や物売りが集まっていた
- C. 火事とけんかは多かった
- D. 日本独特の情緒があふれていた

問題二、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えはA. B. C. Dの中から最も適当なものを一つ選びなさい。

人生八十年時代である。厚生白書によると、二〇二一年の日本には、六十五歳以上の老年人口が、全人口の二三・六%になる。そうすると、四人に一人は老人である。白書ではこれを「未曾有の超高齢化社会」と表現しており、①高齢化社会への警鐘を鳴らしている。日本の高齢化社会は、世界的にも前例がないほどの速さでやってくる。

②、出生率の低下によって、子どもの数は減少している。二〇〇〇年には、老人や子どもが生産人口に対する割合は、およそ五〇%程度になる。したがって、それまでの期間に超高齢化社会に見合う経済社会システムや社会保障制度をつくっておくべきだというのが白書の主旨である。

また、白書では超高齢化社会になると、現在のようなサービス供給体制は制度的にも、財政的にも限界があると指摘している。③、国の負担には限界があるから、自己負担をさらに強化させなければならないということである。

超高齢化社会への対策の一つは、国の施策の改革である。そのためには、医療保険、公的年金の一本化、新しい社会保障制度の確立などが考えられている。これからの社会保障制度は、従来の医療、保険、福祉サービスの他に、住宅や就労のサービスも考慮されていかなければならない。

さらに、高齢者自身の意識の問題もある。人生八十年時代に向けて、高齢者は社会の弱者であるというイメージをぬぐい去り、積極的に社会に参加して生きるという姿勢を④べきだろう。社会も⑤それを受け入れる態勢になる必要がある。社会参加によって若さが保持できるし、⑥それが心身の健康につながる。六十歳定年を制度として社会に定着させることは当然の方向であるが、その対応が遅れている企業がまだある。⑦コスト増のためにそれをしぶっているのがある。六十歳で第一線から引退して、年金生活に入るという優雅な暮らしは、⑧もう望むべくもない時代になってきているのだ。現実に六十五歳までは働きたいと願う人の数は多い。

多くの問題がまだ未解決のまま、日本は超高齢化社会への道を一步ずつたどりつづけている。雇用生活から⑨年金中心の暮らしに無理なく入っていけるようにしたいもののだ。いきいきとした長寿社会づくりへの知恵をみんなで出し合い、安心して老後の